

Muse

Management Policy

2022-2026 運営方針

改訂版

心をつなぐ
アートのちから

（文化の殿堂として）



Management Policy 2022-2026 の改訂にあたって…

公益財団法人所沢市文化振興事業団は、所沢市民文化センター ミューズを拠点として、〔芸術文化=アート〕のちからによって笑顔あふれる未来を創り出すため、2022年に5年間の Management Policy-運営方針-を策定して運営を行っていますが、この間、世界的な社会情勢の変化に伴って、芸術文化を取り巻く環境も変化してまいりました。このため、当事業団が果たすべき役割を今一度見直し、芸術文化で皆様の生活がより一層活気と潤いで満たされますよう、2026年度までに行う取り組みや成果指標を改訂することといたしました。

今後も所沢市が世界に誇る『文化の殿堂』ミューズが、国内はもとより世界中にその名を轟かせる施設となるよう前進してまいります。引き続き、所沢市文化振興事業団の活動にご期待ください。



2024年3月

公益財団法人 所沢市文化振興事業団
理事長 小野塚 勝俊

アートのちからで心をつなぐ 4つの基本方針

Meets

～かけがえのない出会い～

Universal ～世界とつながる～

Smile

～あふれる笑顔～

Every-!

～いつでも、どこでも、だれでも～

System diagram -体系図-

運営方針

心をつなぐ アートのちから ~文化の殿堂として~

基本方針

Meets
~かけがえのない出会い~

Universal
~世界とつながる~

Smile
~あふれる笑顔~

Every-!
~いつでも、どこでも、だれでも~

活動指針

① 心を満たすアートとの出会いを演出

② 新たなアートとの出会いを演出

① 世界に通じる所沢ブランドをアートで発信

② 世界中のアートに触れる

③ SDGs(持続可能な開発目標)で社会貢献

① お客様の笑顔のために

② 笑顔と活気あふれる未来のために

① アートを楽しむ機会の充実

② すべての人にアートを身近に

方策

① 感動に満ちた多彩なアートプログラムの充実

① 新たなアートと出会う機会の充実

② 地域との連携

① 日本最大級のパイプオルガンの活用

② 豊かな自然と調和したロケーションの活用

① 伝統芸能事業の充実

① 愛され続けるエコロジーな施設運営

② 持続するための適正かつ戦略的な組織運営

① 施設貸出事業の充実

② 主催事業の充実

③ 安全・安心・快適な施設運営

① 未来を担う世代が安心して楽しめる事業運営

① アートを体験する機会の充実

② 館内スペースを活用したアートの展示

① ボランティアスタッフの活用

② ミュージアの魅力をメディアで発信

目次

活動方針と方策、そして具体的な取り組み

Meets	～かけがえのない出会い～	1
Universal	～世界とつながる～	3
Smile	～あふれる笑顔～	6
Every-!	～いつでも、どこでも、だれでも～	9
資料編	-用語集-	11



活動指針と方策 そして、具体的な取組み

運営方針「心をつなぐ アートのちから」で創り出す、
笑顔あふれる未来を目指し、次の取組みを行います。

また、取組みの効果を把握するため、成果指標を定めます。

指標の目標値は1年毎に成果を検証し、必要に応じて積極的な姿勢で更新していきます。

Meets ～かけがえのない出会い～

活動指針①

心を満たすアートとの出会いを演出

<方策>

① 感動に満ちた多彩なアートプログラムの充実

世界最高峰のオーケストラのコンサートや演劇、寄席、美術展など様々なジャンルのイベントを年間80～90開催してきました。今後も様々なニーズに応えられるよう多種多様なイベントを開催していきます。



ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団

[具体的な取り組み]

様々なニーズを捉え、多くの方に感動を与えられるようなイベントを実施する。

成果指標	実績		目標		
	2022年度	2023年度 (1月末現在)	2024年度	2025年度	2026年度
主催公演の入場者数	47,499人	72,859人	75,000人	77,000人	80,000人

活動指針②

新たなアートとの出会いを演出

<方策>

① 新たなアートと出会う機会の充実

芸術文化を身近なものとして楽しんでいただけるよう、様々な場所を活用してイベントを開催（アウトリーチ）していきます。



神明社でのアウトリーチの様子

[具体的な取り組み]

寺社仏閣、商業施設、学校などに加えて新たな場所で開催する。

成果指標	実績		目標		
	2022年度	2023年度 (1月末現在)	2024年度	2025年度	2026年度
アウトリーチの回数	0回	3回	5回	7回	10回

＜方策＞

② 地域との連携

所沢市には、市内に拠点を持つNBAバレエ団や世界的な楽器メーカーであるムラマツフルートがあり、イベントの開催や体験講座など様々な連携を行っています。



NBA バレエ団の公演



ムラマツフルートによる体験講座

これらの団体との連携を強化するとともに、所沢市の新たな名所“ところざわサクラタウン”や芸術文化活動に理解がある施設や企業との新たな連携にも取り組んでいきます。

〔具体的な取り組み〕

市内に拠点をおく芸術文化団体や企業とそれぞれの特徴を活かした連携を行う。

成果指標	実績		目標		
	2022年度	2023年度 (1月末現在)	2024年度	2025年度	2026年度
地域の団体や企業と連携したイベントの回数	22回	23回	25回	27回	30回



所沢駅前の商業施設「グランエミオ」開催したコンサートの様子

U niversal ～世界とつながる～

活動指針①

世界に通じる所沢ブランドをアートで発信

<方策>

① 日本最大級のパイプオルガンの活用

ミュージックが誇るパイプオルガンの音色を多くの方に届けるため、プロによるリサイタルのほか、誰もがパイプオルガンに触れられる場を提供してきました。今後も所沢の魅力を発信するため、聴く・観る・触るといった様々な方法でパイプオルガンを活用していきます。



パイプオルガン リサイタルの様子

[具体的な取り組み]

ソロリサイタルや様々なジャンルや楽器との協演、オルガンスクールを実施する。

成果指標	実績		目標		
	2022年度	2023年度 (1月末現在)	2024年度	2025年度	2026年度
パイプオルガン事業の入場・参加者の数	4,141人	7,799人	8,200人	8,300人	8,500人

<方策>

② 豊かな自然と調和したロケーションの活用

自然の風と音を感じながらアートを楽しむため、野外イベントを行っています。今後も武蔵野台地や狭山丘陵といった豊かな自然と調和した魅力的なロケーションを活用し、自然のなかでアートを楽しんでいただくイベントを開催していきます。



淵の森でのイベントの様子

[具体的な取り組み]

自然と調和したイベントを実施する。

成果指標	実績		目標		
	2022年度	2023年度 (1月末現在)	2024年度	2025年度	2026年度
自然と調和したイベントの数	1回	2回	3回	4回	5回

活動指針②

世界中のアートに触れる

<方策>

① 伝統芸能事業の充実

ミュージズ開館以来定番の「所沢寄席」や能楽・文楽など、日本が誇る伝統芸能の公演を行ってきましたが、世界にはその土地に根付いた伝統芸能が数多くあります。これらの魅力を紹介するため、世界各国の伝統芸能の公演も積極的に開催していきます。



文楽



ガムラン

[具体的な取り組み]

寄席、能楽、文楽などの日本の伝統芸能のほか、ヨーロッパやアジア、アフリカなどの世界各地に根付いたアートイベントを実施する。

成果指標	実績		目標		
	2022年度	2023年度 (1月末現在)	2024年度	2025年度	2026年度
伝統芸能の公演の回数	13回	18回	18回	19回	20回



能楽

活動指針③

SDGs（持続可能な開発目標）で社会貢献

<方策>

① 愛され続けるエコロジークな施設運営

環境に配慮した取り組みとしてお客様にご理解・ご協力をいただきながら節電に努めてきました。今後は廃棄物削減のためのペーパーレス化を推し進めていくなど、更に環境に配慮した運営を行ってまいります。

[具体的な取り組み]

SDGsの取り組みや、ゴミの削減など環境に配慮した取り組みを実施する。

成果指標	実績		目標		
	2022年度	2023年度 (1月末現在)	2024年度	2025年度	2026年度
廃棄物の年間排出量の削減	8.79ト	7.22ト	7.22ト	7.21ト	7.20ト

<方策>

② 持続するための適正かつ戦略的な組織運営

公益法人としての使命を果たすため、経費の節減によって得た収益については、お客様に還元するためにサービスの向上に充ててきました。今後も末永くお客様サービスの向上が図れるよう、財政基盤を強化していきます。

[具体的な取り組み]

安定的な収入の確保と経費の削減を行う。

成果指標	実績		目標		
	2022年度	2023年度 (1月末現在)	2024年度	2025年度	2026年度
費用全体に占める自主財源の割合	51.2%	58%	58%	59%	60%

Smile ～あふれる笑顔～

活動指針①

お客様の笑顔のために



<方策>

① 施設貸出事業の充実

施設の貸し出しにあたっては、借りる方（主催者）が安心して施設を利用できるよう、専門スタッフがきめ細やかなアドバイスを行っています。更なるサービスの充実を図るため、手続きの簡略化など利便性を高めていきます。

〔具体的な取り組み〕

手続きのデジタル化を進める。

成果指標	実績		目標		
	2022年度	2023年度 (1月末現在)	2024年度	2025年度	2026年度
利用者アンケートの満足度	93.5%	94.1%	100%	100%	100%

<方策>

② 主催事業の充実

主催公演を楽しんでいただくため、チケットの販売方法や入場方法などの利便性を高めていきます。更に、有料会員制度“メンバーズ倶楽部”に新たな特典を加えていくなど新規会員の獲得に努めます。

〔具体的な取り組み〕

- ・チケットレスサービスやキャッシュレスサービスといった新たなサービスの導入
- ・メンバーズ倶楽部会員特典の更なる充実による新規会員の獲得

成果指標	実績		目標		
	2022年度	2023年度 (1月末現在)	2024年度	2025年度	2026年度
お客様の笑顔の数（満足度）			100%	100%	100%
メンバーズ倶楽部会員の数	5,646人	6,573人	7,300人	7,600人	8,000人

<方策>

③ 安全・安心・快適な施設運営

30年の歳月を重ねてきたミュージズが今後も永く愛されていくため、快適な施設・設備を維持してまいります。合わせて接客などスタッフのスキルを向上させ、快適な施設運営を行ってまいります。

[具体的な取り組み]

設備を適切に整備するほか、プライオリティゲストなどターゲットを絞った接客研修を実施してスタッフのスキルを向上させる。

成果指標 (利用日数/開館日数)	実績		目標		
	2022年度	2023年度 (1月末現在)	2024年度	2025年度	2026年度
ミュージズの利用率	73.3%	74%	75%	80%	85%

[あらゆる催事に対応できるミュージズの主な貸出施設]



アークホール (2,002席)



マーキーホール (798席)



ザ・スクエア (382.95㎡)



キューブホール (318席)



会議室



リハーサル室

活動指針②

笑顔と活気あふれる未来のために

<方策>

① 未来を担う世代が安心して楽しめる事業運営

未来を担う世代が安心して芸術文化を楽しめるよう、子育て世代に向けては全ての主催公演で託児サービスを行い、子どもたちに向けてはズーラシアンプラスをはじめとする子どもにとって魅力的なイベントを開催しています。また、音楽や美術、映像や舞台芸術を専門に学ぶ県立芸術総合高等学校とは協定を締結して、プロの演奏家と共演する機会を提供するなどの連携を行っています。

今後は更に子どもをキーワードとした事業を充実させ、「休みの日はミュージズに行こう！！」が合言葉となるような輝きあふれた未来を目指していきます。

〔具体的な取り組み〕

- ・ 託児サービスの更なるPR
- ・ 子ども向けの多彩なイベントの開催
- ・ ズーラシアンプラスや県立芸術総合高等学校との連携

成果指標	実績		目標		
	2022年度	2023年度 (1月末現在)	2024年度	2025年度	2026年度
託児サービスの利用者数	68人	56人	60人	70人	80人
子ども向け事業の回数	18回	24回	25回	27回	30回
連携事業の回数	8回	8回	9回	10回	11回



ズーラシアンプラスと
芸術総合高等学校の生徒たち

Everyー！ ～いつでも、どこでも、だれでも～

活動指針①

アートを楽しむ機会の充実

<方策>

① アートを体験する機会の充実

アートは観る・聴くだけでなく、体験する楽しみもあります。これまでもオルガンや能楽といった体験講座（ワークショップ）を開催してきました。今後は更に多彩な経験ができるよう、様々なジャンルのワークショップを開催していきます。



能楽ワークショップの様子

〔具体的な取り組み〕

オルガン、フルート、能楽のワークショップに加えて、新たなジャンルのワークショップを実施する。

成果指標	実績		目標		
	2022年度	2023年度 (1月末現在)	2024年度	2025年度	2026年度
ワークショップの参加者の数	224人	486人	500人	510人	520人

<方策>

② 館内スペースを活用したアートの展示

ミュージズには、誰でも自由に過ごせるフリースペースがあります。これらのスペースを利用して、いつでもだれでもアートに触れられる空間をつくっていきます。

〔具体的な取り組み〕

館内のスペースを有効活用し、季節の花々や所沢ゆかりのアーティストの作品、過去の出演アーティストのサインなどを展示する。

成果指標	実績		目標		
	2022年度	2023年度 (1月末現在)	2024年度	2025年度	2026年度
館内スペースを活用した展示の企画数	3回	2回	12回	12回	12回

活動指針②

すべての人にアートを身近に

<方策>

① ボランティアスタッフの活用

運営現場を体験することによってアートの世界を身近に感じていただくため、ボランティアによるサポートスタッフの活動をスタートさせました。また、子どもたちがお仕事体験を通して芸術文化を身近に感じられるよう、“こどもおもてなし隊”を結成しました。



2024年度“こどもおもてなし隊”募集ちらし

今後は活動の機会を増やすとともに、活動内容を充実させていきます。

[具体的な取り組み]

「サポートスタッフ」や「こどもおもてなし隊」による活動を充実させる。

成果指標	実績		目標		
	2022年度	2023年度 (1月末現在)	2024年度	2025年度	2026年度
活動延べ人数	28人	233人	240人	250人	260人

<方策>

② ミューズの魅力をメディアで発信



ミューズは、舞台の素晴らしさや聴衆の温かさに触れた多くのアーティストから高い評価をうけています。このようなミューズの魅力をより多くの方に知っていただくため、あらゆるメディアを活用し、唯一無二の魅力を積極的に発信していきます。

[具体的な取り組み]

既存のメディアにかかわらずに魅力発信ツールを開拓し、利用する。

成果指標	実績		目標		
	2022年度	2023年度 (1月末現在)	2024年度	2025年度	2026年度
魅力発信ツールの開拓と実施			発信ツールの決定	実施	効果測定

資 料 編


一用語集一

	用語 (五十音順)	説明	掲載ページ
1	アート	芸術・美術などのこと。事業団では、音楽・舞台芸術・伝統芸能・映画・展示など、様々なジャンルのアート作品を紹介している。	1
2	アウトリーチ	ミュージズに来館するきっかけを作るため、ミュージズ以外の場所で開催するイベントのこと。様々な場所で開催することで、街中に芸術文化が溢れることを目指す。	1
3	廃棄物	いわゆる「ゴミ」と呼ばれる廃棄物は、大きく「一般廃棄物」と「産業廃棄物」がある。「産業廃棄物」とは法令で定める20種類（汚泥、廃油、金属くず等）のこと。ここでは「産業廃棄物」以外のものをいう。	5
4	SDG's	Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。2015年9月の国連サミットで採択された2030年を年限とする17の国際目標。	5
5	NBAバレエ団	1993年設立。2004年以降、所沢市内を本拠地として活動。国内外で公演を行うほか、バレエ教室やコンクールも積極的に運営している。	2
6	オルガンスクール	パイプオルガンの演奏技術を1年間かけてじっくりと学ぶ講座。	3
7	芸術文化団体	芸術活動や文化活動を目的とする団体のこと。このManagement Policyでは主に所沢市内を拠点に活動するプロやアマチュアの団体を指す。	2
8	県立芸術総合高等学校	美術科、音楽科、映像芸術科、舞台芸術科を有する所沢市内の高校。同校と事業団は2020年に「芸術文化の連携に関する協定」を締結し、芸術文化を担う人材の育成に共に取り組んでいる。	8
9	こどもおもてなし隊	小学校4年生～中学校3年生が対象。ミュージズ主催公演でプログラム配布や客席案内、楽屋準備などを行い、お客様やアーティストをおもてなしする。	10
10	サポートスタッフ	ミュージズ主催公演で、プログラム配布や客席案内など、様々なサポートを行うボランティアスタッフのこと。	10
11	費用全体に占める自主財源の割合	法人全体の支出に対する自主事業（施設貸出料やチケット代など）で得た収入の割合のこと。	5
12	ズーラシアンブラス	子どもの感性を豊かに育むために誕生した、動物たちによる金管五重奏団。ズーラシアンブラスと事業団は、より強い絆で連携するため、2020年に「パートナーシップ アレンジメント」を宣言した。“弦うさぎ”などを加えた総勢60名によるオーケストラ公演も国内外で開催されている。	8
13	能楽のワークショップ	重要無形文化財「能楽」保持者 観世流能楽師が指導する体験講座。	9
14	託児サービス	未就学児入場不可など、年齢制限があるミュージズ主催公演で利用できる有料の託児サービス。	8
15	ところざわサクラタウン	株式会社KADOKAWAが運営する複合文化施設で、書籍製造・物流工場やオフィス、イベントスペース、ショップ&レストラン、書店などがある。（武蔵野線；東所沢駅より徒歩約10分）	2
16	プライオリティゲスト	車椅子や白杖利用者、小さなお子様や高齢者など、特に配慮が必要なお客様のこと。	7

	用語 (五十音順)	説明	掲載ページ
17	ミュージズ	<p>正式名称：所沢市民文化センター。1993年11月1日開館。開館以来、公益財団法人所沢市文化振興事業団が運営している。</p> <p>特徴的な3つのホールのほか、展示室、会議室、練習室、レストランなどを有する複合文化施設。</p> <p><3つのホール></p> <p>①アークホール (2,002席) …シューボックス型のシンフォニーホール。パイプオルガンあり。</p> <p>②マーキーホール (798席) …馬蹄形の演劇ホール。プロセニウムステージ (観客席と舞台が額縁型に区切られたステージ)。オーケストラピットあり。</p> <p>③キューブホール (318席) …室内楽を主目的としたサロン風のホール。</p>	3
18	パイプオルガン	<p>アークホールのパイプオルガンは、日本最大級でオーストリア・リーガー社製。ホールを包み込むような、暖かく荘厳な音色を聴くことができる。</p> <p>パイプ数：5,563本。ストップ数：75。</p>	3
19	ムラマツフルート	<p>所沢市内に本社・工場がある世界的なフルートメーカー。</p> <p>社名：株式会社村松フルート製作所。</p>	2
20	メンバーズ倶楽部	<p>ミュージズ主催公演チケットの優先予約・割引販売などが利用できる有料の会員制度。2024年1月末現在の会員数は6,573人。</p>	6
21	ワークショップ	<p>参加者が主体的に体験しながら学ぶ講座のこと。</p>	9

組織の概要

2024年3月現在

名 称	公益財団法人所沢市文化振興事業団
理 事 長	小野塚 勝俊
所 在 地	埼玉県所沢市並木一丁目9番地の1
設 立 年 月 日	1992年7月23日
設 立 目 的	音楽、演劇をはじめとする優れた芸術文化に接する機会や、市民の芸術文化活動を促進する催事等の場を提供することによって、芸術文化と地域コミュニティの振興を図り、地域社会の発展と豊かな市民生活の形成に寄与する。
業 務 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ●芸術文化の振興を図るための事業の企画及び実施 ●文化団体等の活動支援に関する事業の実施 ●所沢市から受託する施設（市民文化センター ミューズ）を文化芸術活動や生涯学習、地域活動の場として貸与すること ●所沢市の各種文化事業等の受託及び協力 など
沿 革	<p>1992年 7月 財団法人所沢市文化振興事業団設立</p> <p>1993年 11月 所沢市民文化センター ミューズの開館と同時に同施設の運営を開始</p> <p>2006年 4月 所沢市民文化センター ミューズの運営管理者として所沢市から指定を受けて運営を行う（以降、2027年3月まで継続的に指定を受け、現在第6期目）</p> <p>2013年 4月 公益財団法人へ移行</p>
ホ ー ム ペ ー ジ	<p>https://www.muse-tokorozawa.or.jp</p> 

ロゴマークについて…



所沢市は、日本の航空発祥の地です。

ロゴマークは、4つの基本方針を4枚のプロペラに見立て、ミューズが軸となって、大空に舞い上がり、地域全体に芸術文化をお届けすることをイメージしています。

※4つの色はミューズ周辺の豊かな自然をイメージしています。

 さくら
  空
  イチョウ
  狭山茶



2022年 3月発行
2024年 3月改訂

発行 **公益財団法人所沢市文化振興事業団**

〒359-0042 埼玉県所沢市並木一丁目9番地の1
TEL.04-2998-6311 Fax.04-2998-6566
URL. <https://www.muse-tokorozawa.or.jp>